

平成 20 年 2 月 5 日

各 位

会社名 三菱自動車工業株式会社
代表者名 取締役社長 益子 修
(コード番号 7211 東証、大証第一部)
問合せ先 執行役員 CSR 推進本部長
中村 義和
(Tel : 03-6852-4206)

豪州子会社の工場閉鎖に伴う諸費用の損失計上について

当社は、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）において、豪州子会社の工場閉鎖に伴うリストラ等諸費用を損失計上しますのでお知らせいたします。

記

1. 損失計上の理由

本日、当社及び豪州における生産・販売子会社である MITSUBISHI MOTORS AUSTRALIA LTD.（以下、三菱・モーターズ・オーストラリア・リミテッド）は、豪州事業構造の現状を詳細分析した結果、長期的な成長を達成するために現地生産事業から撤退し、輸入完成車販売事業に専念することを決定いたしました。これにより、現地生産工場閉鎖に伴う諸費用を損失計上いたします。

2. 今後の見通し

(1) 当社損益への影響

平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）において、豪州現地生産工場閉鎖に伴うリストラ等諸費用 220 億円を損失計上いたしますが、その大半を特別損失として計上する予定です。但し、本損失は、最近の販売・為替の動向に伴う営業利益/経常利益の上振れによりカバーされる見込みのため、当期純利益については前回平成 19 年 10 月 30 日に発表した予想数値(200 億円)を据え置きます。

連結通期業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,700,000	70,000	47,000	20,000
今回修正予想(B)	2,670,000	80,000	60,000	20,000
増減額(B-A)	△30,000	10,000	13,000	-
増減率(%)	△1.1%	14.3%	27.7%	-
(ご参考) 前年同期実績 (平成 19 年 3 月期)	2,202,869	40,237	18,542	8,745

(2) 純資産への影響

上記(1)項記載の通り、豪州現地生産工場閉鎖に伴う損失を加味した当期純利益予想は、前回発表予想と変更ないため、純資産に与える影響はありません。

(参考) ミツビシ・モーターズ・オーストラリア・リミテッドの概要

- (1) 主な事業内容：自動車の輸入・組立・販売
- (2) 設立経緯：1980年4月、三菱自動車工業株式会社及び三菱商事株式会社が前身のCHRYSLER AUSTRALIA LTD.の全株を取得し、同10月、現在名に社名変更
- (3) 本店所在地：豪州 南オーストラリア州 アデレード市
- (4) 代表者：ロバート・マクエニリー
- (5) 資本金：1,440百万豪州ドル
- (6) 従業員数：1,164名
- (7) 当社との関係：連結子会社
- (8) 大株主構成および持株比率：三菱自動車工業株式会社 100%
- (9) 敷地面積：701,600平方メートル
- (10) 建屋面積：174,000平方メートル
- (11) 工場生産能力：3万台/年
- (12) 生産車種：『380』
- (13) 販売車種：『380』、『トライトン』、『ランサー』、『パジエロ』等

以上